

福祉あさくち



表紙のことは

男子厨房に入る。
レパートリーが増えました。

(寄島 おじいちゃんの料理教室)



社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- | | | |
|--------------------------------|----------------|------------------|
| ☐ 本 所 | 浅口市鴨方町鴨方73 | TEL 0865-44-7744 |
| ☐ 金光支所 | 浅口市金光町占見新田751 | TEL 0865-42-7308 |
| ☐ 寄島支所 | 浅口市寄島町7540-5 | TEL 0865-54-3317 |
| ☐ カニ丸の家 | 浅口市寄島町16089-17 | TEL 0865-54-3113 |

当事者組織の紹介

おなじ立場で助け合い

当事者組織とは、同じ悩みや課題のある人同士で会を組織し、活動を行っていく団体のことをいいます。その活動を通じて親睦を深め、お互いに悩みや心配とを共有して助けあい、励ましあい、情報交換をする中で、自分たちの問題の解決を図ることとするものです。

一人暮らしは一人ぼっちじゃない

一人暮らし高齢者の会（鴨方町むつみ会・寄島ひまわり会）

一人暮らしの高齢者の方が毎日を明るく健康に暮らしていくために、「ひとり暮らし」という同じ環境の人たちの仲間づくりや場づくりを目的とした会です。

不安の多い一人暮らしの生活に、対し、趣味活動や親睦・交流活動、研修会などを通じて、相互に親睦を深め、高齢者がひとりで暮らす上で必要な情報提供を行います。

●活動内容

交通安全や健康管理などについての研修会、料理教室、趣味活動、研修旅行など

●お問い合わせは

鴨方地区 ☎44-7744

（社会福祉協議会本所）

寄島地区 ☎54-3317

（社会福祉協議会寄島支所）

※金光地区では今年度に会を設立する予定です。

介護者は手をつなごう

浅口市介護者の会

同じ立場の人たちの集いの場で仲間をつくり、同じ立場だからこそ分かりあえる思いや悩みをお互いに打ち明け、介護の経験から知恵を出しあったり福祉・介護サービスなどの情報を分かち合ったりしながら、よりよい介護ができることを目指しています。

●主な活動内容

講習会や茶話会、手芸など（定期的に金光・鴨方・寄島でそれぞれ活動）
視察や研修会、交流会など（合同で年数回開催）

●お問い合わせ

鴨方地区・寄島地区

☎54-3313

金光地区
（カニ丸福祉あさくち内）
☎42-7308



金光支所
からのお願い

身近な地域での「見守り・声かけ活動」推進に向けて

福祉委員選任にご理解とご協力を

今夏発足に向けて

社会福祉協議会では、だれもが住み慣れた地域で、安心して暮らせる共にたすけあう地域づくりを推進しています。こうした考えを基本に福祉のネットワークづくりの一員として福祉委員制度発足を進めています。

金光地区における高齢化率は、現在27、3%（県下平均23、0%）と県下の平均を上回っています。また、団塊世代の高齢化を考えると数年前には3人に1人が65歳となることも予想されます。

地域において、ひとり暮らしや、高齢者のみの世帯など、気になる人（心配な人）が増えていく中で、同じ地区に住む住民同士による見守りや、困りごとの早期発見が求められています。

○福祉委員とは、

社協会長からの委嘱により、地域の見守りネットワークの一員として民生委員や行政、社協などと一緒になって活動していただくボランティアの方をいいます。

○活動範囲（受け持ち地域）

身近な地域という概念で望ましい活動範囲としては30～50世帯を考えています。

○福祉委員の具体的活動例

- ・気になる人（心配な人）の状況確認と声かけ活動（見守り活動）
- ・社協掲示板へ広報活動、福祉相談の窓口
- ・ふれあいサロンの協力
- ・研修会等への参加など

○福祉委員として心がけていただきたいこと

・民生委員、愛育委員、老人クラブ、そして社協や行政関係者との連携した活動も伴いますので個人に責任問題、精神的負担をかけることはありません。問題が出てきた場合は行政や関係団体と協議して問題解決に当たります。活動を通じて得た個人情報だけは、プライバシー問題に抵触しますので秘密厳守をお願いします。

○福祉委員の任期期間

2年間とします

少し余暇時間がある、人のために少し役立ってみたい、何かやりがいを感じてみたい・・・と思っていられる方、性別、年齢は問いません。こうした活動にご賛同いただき地区代表者を通じてご協力をお願いします。



よりしま

はまかせサポーター 始動!!



平成20年1月29日、浅口市ふれあい交流館サンパレアで寄島地区福祉委員の発足式を開催しました。寄島地区の福祉委員の愛称は事前のアンケートで多数の好評を得た「はまかせサポーター」に決まりました。

委嘱状交付式の後、事務局より経過説明、記念講演として廿日市市社会福祉協議会の酒井保氏の講演を開催しました。

今後の「はまかせサポーター」の活躍に期待下さい！

福祉委員(はまかせサポーター)の活動

①声かけ見守り活動

福祉委員の日常的な活動として「声かけ見守り活動」を行います。担当地区の独居高齢者・高齢者世帯、または見守りが必要と思われる方に日常的な声かけを行います。

②ふれあいサロン等への参加

地域でのふれあいサロンは、閉じこもりの防止や健康づくりを目的として開催しています。担当地区の福祉委員は積極的に地域のサロン等に関わって活動します。

③はまかせ掲示板の管理

社協では福祉に関する情報を周知することを目的として地域に掲示板を整備します。定期的に社協から掲示物をお届けし、担当地区の福祉委員さんに掲示板に貼付して頂きます。

④研修会等への参加

社協では福祉に関する諸制度の研修会を開催し、福祉委員の研鑽を図ります。また、必要に応じて視察研修を行い先進地の実践を見聞するとともに福祉委員相互の互助連絡を深める機会とします。

サポーター 名簿

東安倉	道広 絹枝	笠原美佐枝	川崎 尅己	道広 佳子	平井 幸子	岡本 暁美	岡辺 俊郎	田中 信子	田中美智恵	道広 郁子	小笠原知治	三宅 絹子	道広 信行	三宅 章子	三宅 一文	村上 昭子	頃末 昭	小川 眞広	大室 進	岡辺 龍臣	小田上 剛	高藤 和子	高藤 真弓
中安倉																							
西安倉																							
国頭																							
早崎																							
宮通																							

記念講演要旨

みんなて
創ろう！

「お互いさま」が言える地域

廿日市市社会福祉協議会大野事務所 酒井 保氏



◆住民の福祉を……
住民は地域の要援護者から手を引いている。「要援護者の方は福祉へどうぞ」

と、福祉が関わる事で住民が安心して手を引いてしまう。災害等が実際に起った時には、施設や福祉ではなく地域の手助けが必要となる。そういう意味で日頃から地域のかかわりが大切となる。福祉（豊かさ）は効率から失われたものであり、豊かさとはその人らしい暮らしを実現することである。本当の「たすけあい・ささえあい」という最高レベルの福祉は住民によってこそ実現する。担い手の都合でつくる福祉づくりではなく受け手の都合による福祉を築かねばならない。

◆助けられ上手になろう！……

「母の相手をして欲しい」「一日預かって欲しい」と近隣の方に言えますか？一般に「助けて」と言えない人が多い。人は何か人から受けると何か返さないとけないという気持ちが生まれる。それが一方的にサービスを受けるばかりだと、心の中の天秤ばかりが

崩れてしまう。いつも助けられている当事者こそ担い手になったがっている。「受け手」ばかりでなく、「受け手」が「担い手」になるようなネットワークを構築することが大切である。助けられ上手になるには隠さないことも大切。障害を持っても認知症であっても「あなたにも出来ることがある」と認めてあげること。助ける側と助けられる側の相互が「受け手」「担い手」を共有することで助けられ上手が実現する。

◆「逆転の福祉」の発想……

ハンディを抱えた人が人並みの生活を送るためには、それなりに潤沢な資源が投入されなければならない。ハンディを乗り越え人並みの生活を確保するためには、その人に対しては健常者へ投入される以上の高度な資源が集中されなければならない。過度な援助があつて初めてハンディを乗り越えられる。これを「逆転の福祉」という。「逆転の福祉」は理屈上、理解できるとしても、実際にはなかなか住民の理解を得られない。しかし、当事者の本当に「豊かな生活」を保障するためには、「逆転の福祉」の発想に理解を示し、ハンディを抱えた人を主体においた福祉を創ることが大切だ。

山根	小笠原 要
福井	山本恵美子
尾焼	坂本登志子
大浦	笠原小夜子
	赤沢 清子
	鎌田 博子
片本	坂本喜久子
	原田 征和
	大島 洋子
	永原 由子
鏡	原田 典子
	荒川 照子
	荒川 照子
青佐	荒川 照子
	竹本 照子
	佐伯 美子
	山本 利子
中新開	三宅 純子
	中浜 高義
三郎	村上留理子
新開	来海 勝司
柴本	西島 秀子
	高田 幸子
	秋田志磨子
	道広 洋子

福祉あさくち映画会を終えて

1リットルの涙

2/10 開催

あらすじ

木藤重也を襲う病魔は徐々に体の運動機能が衰え、手足の自由や言葉を奪う不治の病である。この物語は主人公の重也が、中学3年の14歳から21歳まで書き綴った日記をもとに構成されている。重也は中学3年生。受験を控え、中学生生活を送っている。そんなある日、重也はいつものように通学して

いて突然転倒し、下あごを強打する。母・潮香は主治医から衝撃的な事実を知らされる。脊髄小脳変性症という、悪くなることはあっても決して良くならない不治の病だと言う。潮香はこの子の残された命を充実させるため、自分に出来ることはすべてしようと強い決意をする。



謝っておくれ、俺は強者。
悔しかったら、おはなさいやん。
負けとったら、いふんやん。

感想

▼1リットルの涙を見て

徐々に体の機能が衰えていく主人公の重矢は自らの病気のことを主治医(女医)に勇気を振り絞って聞くのです。「この病気はね。今の状態からだんだん悪くなって、治ることの無い病気なの」とハッキリ言われる先生に私はびっくりしました。さらに、重矢はリハビリの若い先生に思いを寄せ、主治医に聞くのです「先生、私結婚できますか」困睡を呑む重矢に「いいえできません。なぜならこの病気はね、だんだん悪くなって、決してよくなることが無いからです」と。何もそこまで言わなくても思いました、これは先生の愛の鞭。この一言で重矢は迷うことなく、前向きに日々を過ごすことができたと思います。この映画を見て私はなんと平穏な人生であったかと思えました。余生は人にやさしく、自分にきびしくをモットーに後悔しない人生を送りたいと思います。

(鴨方町 Mさん)

▼久しぶりに映画を見ました

主人公は不治の病にもめげず、いつも強い心を持った芯の強い娘さんだと思

ました。どんなに苦しくても笑顔を絶やさず明るく生き抜きました。また、お母さんの並々ならぬご苦労と愛情に2リットルの涙が出ました。

(鴨方町 Tさん)

▼テレビドラマより

真実に近いのかな

1リットルの涙はテレビドラマで大ファンでした。主人公の高校生に扮したのは、テレビでは沢尻エリカでした。映画では大西麻恵さんで余り有名ではありませんが、大変熱演だったと思います。リハビリの先生へ思いを寄せるところはテレビでは恋愛をクローズアップさせていましたが、映画ではサラッと触れているだけで、日記に基づいた真実に近いのだと思います。私が一番感激したのは、学校の近くのパン屋のおばさんの親切な気持ちです。「困ったときはお互いさまだよ」と言ってお母さんが迎えに来るまで預かってくれたところ。学校を去るときもアルバイト代といって、パンをくれたところも涙が出たところです。

(金光町 中学3年生)





お達者さん

渡辺イソミさん（90歳）
鴨方町（鴨方）

一昨年、おばあさん長生きしてねと、子供や孫たちが大勢集まって米寿のお祝いをしてくださいました。長生きしてよかったなあ…、ほんまに嬉しかったですよ。

若い頃は？

私は汚れる畑仕事が嫌いで田んぼや畑のないお父さんと結婚しました。優しくて働き者で子供にも恵まれて、何不自由のない生活で幸せだったけれど、戦争になってお父さんが兵隊に取られて、私と子供とで不安でした。戦後はお金を出してもなかなか食べ物が買えなかったから、仕方なしに田んぼを借りたんですよ。始めは分からない事ばかりで苦労したけれど、次第に作る喜び楽しさを感じるようになりました。

愛媛の伯方島から嫁いできて親は遠くへ行くなと心配してくれましたが、とても可愛がってもらってね、こんなにいいところがあるのかと思ったくらいでしたよ。

楽しみは？

お父さんが元気な時は旅行に行ったりカラオケをしたり…。歌は特に好きで、昔『女ののど自慢』っていうテレビにも出たこともあるんですよ。お父さんは地元のカラオケ大会でウナギを買って帰

ってきたこともありました。老人クラブのカラオケ部にも入っていたから、いろんな所で歌わせてもらいましたよ。それから嫁にハーモニカを吹いてもらって、その伴奏で家で歌ったりもします。楽譜がなくても何でも吹いてくれて、楽しいよ。

今日は何かなーと嫁の作ってくれるご飯も楽しみじゃな。そしてひ孫と遊ぶこと。この頃は歩いて歩くのが大変だけど、でも可愛いからなあ…。何年か前に転んで足を骨折したことがあって、しばらくは歩けななだけれど、ひ孫を追っているうちに歩けるようになったんよ。

日課にしていることは？

朝起きると息子と一緒に仏さんに手を合わせてから、畑に行きます。それからお昼にはテレビを見たり。相撲とか水戸黄門とか、私の好きな番組がかかる時間には嫁が教えてくれるんですよ。

元気の秘訣は？

友達と話をすること、畑の草を取ること、自分方で出来た野菜を食べること。そして感謝を込めてありがとうと言うこと。心で思っている相手には分からないからね。ありがとうは、長生きできる言葉かもしれないねえ。

磯辺の草花 ウォッチング！

主催 みつやまグリーンクラブ

みつやまグリーンクラブは、「美しい寄島の景観を守ろう！」のかけ声の下、月に1回三郎園地の空き缶・ゴミ拾いを行っています。

六月のみつやまグリーンクラブは広く一般開放し、ゴミ拾いの後に磯辺の草花のウォッチングを開催します。

一緒に三郎島の美しい自然に触れてみませんか？皆さんのご参加をお待ちしています！

日時

平成二十年六月七日（土）
八時～十時半

場所

三郎海岸

内容

空き缶・ゴミ拾い

連絡先

磯辺の草花のウォッチング

浅口市社会福祉協議会

寄島支所

☎ 54-3317

平成20年度予算

理事会・評議員会で決定

地域福祉の充実にむけて

浅口市社会福祉協議会は、一人暮らし高齢者の見守り活動、地域のふれあい
いきいきサロン等の住民による福祉活動を積極的に推進し、各種団体、行政
との連携を強め、住民の方々が助け合いながら、安心して心豊かに住みつづ
けられる地域づくりに邁進します。3月27日の理事会・評議員会で平成20年
度の事業計画と予算が承認されました。

事業計画

① 社協組織と基盤の強化

- ・福祉委員制の全市域への導入
- ・地区社協設立にむけた研究
- ・地域福祉座談会の開催

② 小地域福祉ネットワークの充実

- ・ふれあいサロンの設置促進と充実
- ・ご近所福祉モデル事業の実施
- ・高齢者見守りネットワークの組織化

③ ボランティアセンター事業の推進

- ・ボランティア登録制の周知拡大
- ・ボランティア連絡協議会の支援・協働
- ・各種ボランティア養成事業の実施

④ 各種福祉団体との連携と協働

- ・民生委員・老人クラブ・当事者組織等との連携
- ・行政・保健・医療・福祉関係団体との連携

⑤ 少子化対策・児童関係の事業実施

- ・子育てサロンなど住民参加による事業の実施
- ・父子母子世帯を支援する事業の実施

⑥ 低所得者対策の実施

- ・生活福祉資金による貸付
- ・高額療養費・高額介護療養費等による貸付

⑦ その他の事業

- ・福祉車両、福祉備品の貸し出し
- ・共同募金、日赤会費の納入事務

ふれあいサロン
活動助成
増額へ

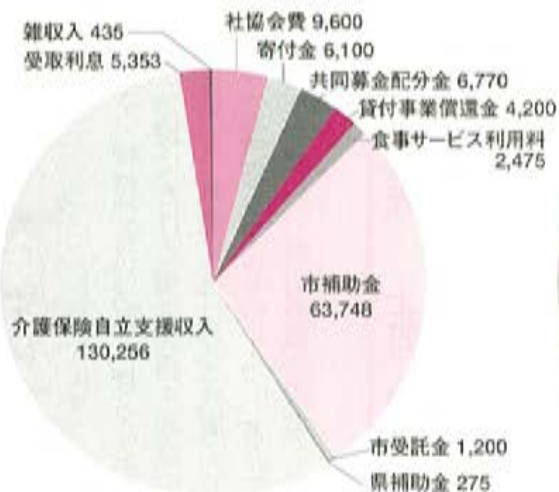
茶話会の場合
100円→200円

食事を出す場合
200円→300円

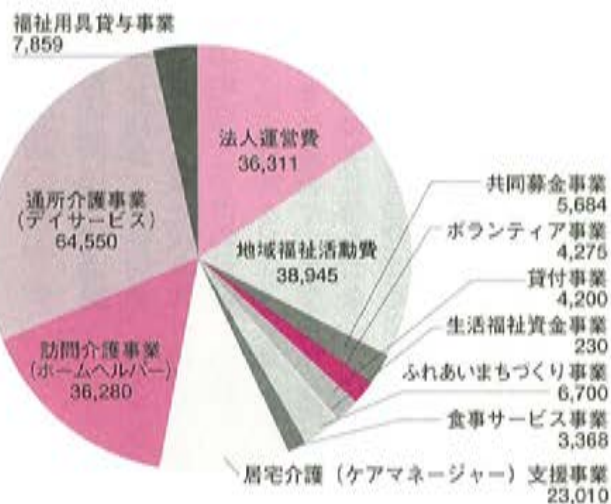


予算内訳

収入（総額230,412千円）



支出（総額230,412千円）



事業別内訳

社会福祉協議会は、地域福祉推進のため、住民の方々とのボランティア活動等を中心とした地域福祉事業と介護保険・障害者自立支援法に基づく在宅介護支援事業を行っています。

地域福祉推進事業収支予算

(住民の方々の助け合い活動充実に関する事業)

介護保険、障害者自立支援事業収支予算

(介護保険・障害者自立支援法に基づく居宅介護事業)

収 入 (千円)		支 出 (千円)	
社 協 会 費	15,700	人 件 費	47,111
寄 付 金		固 定 資 産 取 得	2,230
市県補助金	64,023	事 務 費	14,506
共 同 募 金 配 分 金	6,770	事 業 費	29,746
貸 付 事 業 償 還 金	4,200	貸 付 金	4,200
食事サービス等利用料収入	2,475	団 体 催 事 金	920
受 取 利 息 雑 収 入	5,545		
計	98,713	計	98,713

収 入 (千円)		支 出 (千円)	
デイサービス事業	64,550	人 件 費	101,587
ホームヘルパー事業	35,280	事 務 費	11,742
ケアマネージャー事業	23,010	事 業 費	9,320
福祉用具貸与	5,339	固 定 資 産 取 得 費	3,700
障害者自立支援事業	2,200	予 備 費	5,350
市受託事業	1,320		
計	131,699	計	131,699

「ご近所福祉ネットワーク」モデル指定

地域は「たすけあらい」で元気になる

少子高齢化がすすむなか、地域の自治活動も様々な影響を受けています。社会福祉協議会では、地域における福祉問題を地域の課題としてとらえ、住民相互のたすけあいを推進し、地域における世代間の交流と連帯意識をたかめることを目的として、「ご近所福祉ネットワーク」普及モデル地区指定事業を始めました。6か所を2カ年指定し、自治組織の規模に応じて活動助成金を交付します。

指定地区

金光 上竹、須恵
鴨方 みどりヶ丘、六愛
寄島 西安倉、早崎

モデル地区の活動のめやす

○地区における世代間の交流活動

- ・子ども会、青年団体、女性団体、老人クラブなどが連携した地域活動
- ・地区に伝わる伝統行事を次世代に伝承する活動

○要援護者への地域ぐるみの見守り活動

- ・独居老人等への定期的な見守り活動
- ・学童とのあいさつ運動やミニ学童保育所の開設
- ・障害者世帯や高齢者世帯を対象とした会食会

○地域福祉や地域連帯を啓発する事業

- ・福祉に関する講演会やイベントの開催
- ・地域ぐるみの文化スポーツ活動や花いっぱい運動

○福祉に関する地区の調査・研究活動

- ・防災や交通安全に関するマップ作り

金光・須恵地区

「ふれあいサロン」そば打ち体験



子どもたちとふれあいサロンで、そば打ちを体験、なかなかの手つきに大人も顔負け、できたてのそばの味は格別、お代りをちょうだい！の声も。

金光・上竹地区

「福祉ネットワーク事業」夏祭り



福祉ネットワーク事業の一コマ夏祭り風景です。2003年夏から地域で世代間の交流を高めるためにはじめました。

ボランティアが集まって、やきそば、おにぎり、やきとり等をふるまって祭りは最高に盛り上がります。

鴨方・みどりヶ丘地区 サロンや芸能祭で広がる交流の輪



みどりヶ丘地区のふれあいいきいきサロン「みどり会」は、毎月第3土曜日に地域の高齢者がコミュニティセンターに集い、健康体操やゲーム、食事をしながら楽しい時間を過ごしています。また、自治会のふれあい祭りや、地区の芸能祭では、手づくりの楽器を演奏する等、地域活動が積極的に展開されています。

鴨方・六愛地区 「子どもを守る会・六愛」が発足



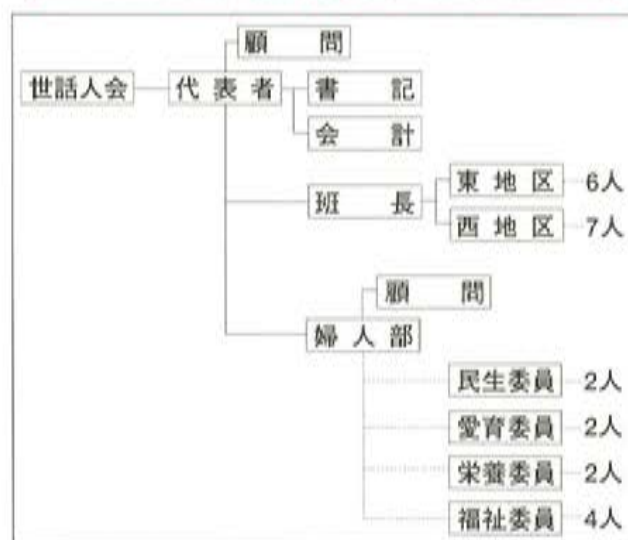
六愛地区では、「子どもは地域の宝」を合言葉に、登下校中の子どもたちを事件・事故から守ると共に、下校した後も子どもたちの安全を地域で守る為、平成19年4月に地域住民60名で、自主防犯・交通事故パトロール隊（愛称：子どもを守る会・六愛）を結成し、安全・安心な住みよい・楽しい地域づくりに取り組んでいます。

寄島・早崎地区 見守りマップの作成



町内会あげて独居老人、昼間独居老人の見守りマップを作成中です。マップの作成を通じて、独居老人の生活や隣人としてのかかわりを再認識することができました。

寄島・西安倉 世話人で見守り声かけ



西安倉地区では、高潮の被害を教訓にして、要援護者の見守り活動が重要視されています。世話人会を発足し、独居老人等の要援護者に定期的訪問活動を行っています。

老人クラブが
訪ねる

浅口探訪⑥「津澳の森」

占見永楽会

(奥島敬会長・会員149名)



これはこの辺り一帯がまた海だった遠い昔のお話です。

ある日、漁師のあみに、これまで見たこともない大きな魚がかかった。

顔が人間そっくりで体は魚だった。人魚だったのだ。あんまり珍しい魚なので仲間をよんでご馳走

することにした。

集まった者は話を聞いて気味が悪くなり食はずに、持ち帰る途中で海に捨てた。ところが、一人の男は酒に酔っていたので、捨てずに持ち帰ってしまった。その男の娘が、父の着物をたたんでいるとご馳走が出てきた。おいしいうので食べてしまったのだ。

その後、娘は結婚し子どもも産んだが少しも年を取らず、三十年経っても五十年経っても、子どもや孫が年を取って死んでも若々しかったのだ。

それから何十年か経って、女は全国の寺を訪ねて旅に出かけた。村を出るとき、浜に柳の杖を立て、「この杖がつくまでには帰ってこよう」と言い残した。杖は、いきついて大きな柳になったが、女は帰ってこなかった。

柳はさらに大きくなり、全国津々浦々にまで知られ、占見郷の名物になった。

それから何百年か経って、村人が若狭の国(福井県)を旅していた時、女のお坊さんに会った。村の話をすると、懐かしそうに聞いていたが、

「あの森に柳の木があるかな」と訪ねた。

「なんでも、ずっと昔のこと、大きな柳があつて、京の三十三間堂の棟木になっていると聞いたんですが」

「もう、そんなに年がたったかのう」

女のお坊さんは、涙を流しながら言った。そのお坊さんが、人魚を食べた娘で、なんでも千年も生きたということだ。

後々、千年比丘尼の伝説で語り継がれている。



くまでには帰ってこよう」といった「つくま」からつけられたとも言い伝えられている。(金光町の民話「金光町読本」より)

いまでは、その森も削られ当時の面影はないが、地元の人を通りすがりに遠い昔に思いをはせている。

鴨方地区ボランティア
交流会



【鳩ヶ丘地区】
▼交流もちつき大会



【鴨方さつき会】
▼旭川荘成人式で餅つきのお手伝い



▲【たんぽぽまつり】にぎやかな模擬店



▲藤細工サロンのお花見会

カメラレポート





クイズの答えとともに
「福祉あさくち」の感想をお寄せください

ボランティア登録制スタートのことにくわしく説明されていて、とても良く分かりましたので私も考えてみたいと思います。 金光町 大橋さん

色々なイベントがあるのですが、寄島地区はほとんどふれあい交流館サンパレアが会場となっているので足の不自由なものは参加したくてもいけないのが残念です。 寄島町 三宅さん

三つ山は近くに居ながら一度も訪れたことがなく残念に思っています。今年こそ一度素晴らしい「三つ山」を確認したく思います。

金光町 井上さん

～浅口市老人クラブ連合会からのお願い～

老人クラブに 入会しませんか

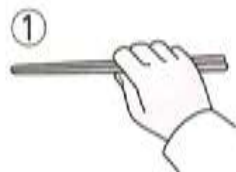
市内82クラブ 5,000人の仲間

老人クラブは「友愛・健康・奉仕」の理念のもと、スポーツ活動による健康づくりや、各種研修・イベントを通してお互いの親睦を深めるとともに、学童の見守り活動、地域清掃等の奉仕活動を通じて地域に貢献しています。

私たちと一緒に、誰もが安心して心豊かに暮らせる浅口市を目指して活動しましょう。加入についてのお問い合わせは、地元の老人クラブの会員にお尋ねください。

みんな で 食育 食事の作法も

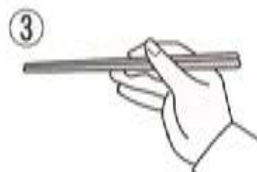
作法やマナーは人と人が上手に付き合う時に守るべきルールです。「箸」という字は、「身が美しい」と書くように、周りの人から姿勢やしぐさが美しく見えることを意味するのです。世代間での「箸」に機会がへった今日、「握り箸」「犬食い」や肘をつきながら食べるなど、見苦しい食べ方を見かけることがあります。「食育」の場において、こうした食文化を伝承してゆきたいものです。



箸を右手で取り、



左の手のひらで受けて持ち、



右手を箸の下にまわして持ち替えます。



器を持つ時は左手を添えて



右手で持ち上げ、



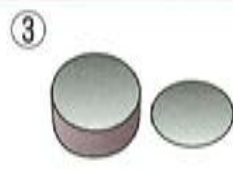
左手に持ち替えます。



吸い物などの碗の蓋を取る時は、蓋の糸底を右手で持って取り、



蓋の内側についた水滴を外に落とさないように碗の上で蓋を上向きにし、



右側に置きます。

篤志御礼

金光町

- 藤澤和治さん(下竹)より
亡母 幸子さんの香典返し
- 西山輝明さん(上竹)より
亡父 友茂さんの香典返し
- 中村公一郎さん(大谷)より
亡父 公夫さんの香典返し
- 弓削清助さん(佐方)より
亡母 末恵さんの香典返し
- 藤澤昭輝さん(佐方)より
亡母 千代子さんの香典返し
- 武 常男さん(八重)より
亡父 萬壽治さんの香典返し
- 大橋勇一さん(大谷)より
亡従姉 桜井街子さんの香典返し
- 文谷広和さん(佐方)より
亡母 ちとせさんの香典返し
- 平井嘉明さん(八重)より
亡父 左武郎さんの香典返し
- 渡辺時男さん(占見)より
亡妻 英子さんの香典返し
- 佐川基史さん(佐方)より
亡母 延代さんの香典返し
- 高橋喜美枝さん(大谷)より
亡夫 信地郎さんの香典返し
- 柚木正人さん(下竹)より
亡父 敏夫さんの香典返し
- 三宅一敏さん(占見)より
亡母 花子さんの香典返し
- 小幡佳夫さん(占見新田)より
亡妻 廣子さんの香典返し
- 瀬良壽男さん(上竹)より
亡母 國江さんの香典返し

鴨方町

- 原田恒明さん(上竹)より
亡父 一男さんの香典返し
- 藤澤賢三郎さん(佐方)より
亡父 栄二さんの香典返し
- 鍋谷登美子さん(占見新田)より
亡夫 岩馬さんの香典返し
- 丸本安希子さん(占見新田)より
一般寄付
- 吉川重治さん(地頭上)より
亡祖母 節子さんの香典返し
- 山下哲男さん(六条院中)より
亡父 孝良さんの香典返し
- 亀岡敏子さん(小坂東)より
亡夫 孝さんの香典返し
- 渡邊ミヤさん(六条院中)より
亡夫 章士さんの香典返し
- 遠藤逸美さん(六条院中)より
亡夫 裕道さんの香典返し
- 虫明秀夫さん(小坂西)より
亡父 弘さんの香典返し
- 北殿美三枝さん(六条院西)より
亡夫 昭二さんの香典返し
- 三宅公博さん(鴨方)より
亡母 松田玉枝さんの香典返し
- 山下喜一さん(神戸市)より
亡母 二三子さんの香典返し
- 高村新一さん(みどりヶ丘)より
亡母 敏子さんの香典返し
- 仁科正行さん(鴨方)より
亡父 正さんの香典返し
- 小川眞澄さん(六条院西)より
亡母 久子さんの香典返し
- 山本和徳さん(鴨方)より
亡叔母 美好さんの香典返し

- 船 勇子さん(鴨方)より
亡父 弘さんの香典返し
- 永原昌子さん(小坂東)より
亡夫 英芳さんの香典返し
- 中島繁子さん(六条院東)より
亡夫 正義さんの香典返し
- 山田里枝さん(本庄)より
亡母 カヤさんの香典返し
- 吉川千恵さん(深田)より
亡父 簡井安貞さんの香典返し
- 横山美津恵さん(六条院西)より
亡夫 暁さんの香典返し
- 藤井鶴雄さん(本庄)より
亡母 良さんの香典返し
- 眞田昌郎さん(本庄)より
亡母 ヤクノさんの香典返し
- 亀岡祐史さん(小坂東)より
亡祖母 知恵さんの香典返し
- 渡邊哲枝さん(六条院中)より
亡夫 節夫さんの香典返し
- 田村千津子さん(益坂)より
亡夫 秀男さんの香典返し
- 葉上彰保さん(占見)より
亡母 修子さんの香典返し
- 田口サチ子さん(本庄)より
亡夫 高さんの香典返し
- 渡辺直人さん(六条院東)より
亡父 久太郎さんの香典返し
- 竹下茂さん・良子さんより
篤志寄付
- 日本キリスト教団鴨方教会より
クリスマス献金の一部
- 郵便局前より
募金手数料 寄付
- 益坂町内会より
募金手数料 寄付

寄島町

- 佐藤三千秋さん(東安倉)より
亡父 平方秀雄さんの偲び草
- 岡辺常美さん(中安倉)より
亡母 千鶴枝さんの香典返し
- 三宅優子さん(国頭)より
亡夫 武至さんの香典返し
- 高瀬 泉さん(中安倉)より
亡夫 安多郎さんの香典返し
- 田中春子さん(宮通)より
亡夫 時男さんの満中陰志
- 川崎寛人さん(東安倉)より
亡父 洋三さんの香典返し
- 山本仁士さん(山根)より
亡母 キチコさんの香典返し
- 村上達也さん(宮通)より
亡父 安正さんの香典返し
- 川崎雅道さん(東安倉)より
亡父 茂彌さんの満中陰志
- 田中文昭さん(中安倉)より
亡母 松恵さんの香典返し
- 長谷川愛衛さん(国頭)より
亡母 若狭美知枝さんの満中陰志
- 岡田巧磨さん(東安倉)より
亡父 照克さんの香典返し
- 赤沢忠勝さん(東安倉)より
亡母 寿子さんの満中陰志
- 黒住仁史さん(鏡)より
亡父 隆義さんの香典返し
- 高藤寿満さん(宮通)より
亡子息 喜三郎さんの香典返し

(平成二〇年三月三十一日まで)
ご寄付ありがとうございました。
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

提供：鴨方高校まんが愛好会
画：ミントン魂&狐龍

福祉あさくち 4コマ劇場



ボイストレーナー 参加者募集 健康音楽サロン

- 日 時 毎月第3月曜日（ただし7月のみ第4月曜日）
午後1時30分～
- 場 所 金光ボランティアセンター（金光町下竹 旧竹幼稚園）
- 講 師 松原 徹先生（NPO法人音楽の砦 理事長）
- 参加費 100円（茶菓代として）
- お問い合わせ・お申し込み
浅口市社会福祉協議会 金光支所 ☎42-7308

楽しく描いています 5/1～5/30 福祉絵てがみ展示会



鴨方の絵てがみのボランティア「鴨メール」・金光の『ゆめの会』は、お弁当に添える掛がみを描いています。
今回、浅口市社会福祉協議会本所で、私達たちの作品を展示しますので多くの方に見ていただきたいと思います。

展示期間
5月1日（木）～5月30日（金）
8時30分～17時（土日を除く）

ホームページができました！
<http://www.fukushiokayama.or.jp/Asakuchi/>

編集後記

新緑の候、もはや汗ばむ気候になりました。社協だより「福祉あさくち」8号ができました。今回もぎりぎりの編集作業でした。次回は夏号、8月発行を目指します。（土）

クイズ 探して並べて

今回の紙面に□で文字をかこんだ箇所が7か所あります。この7文字をならべかえて、言葉をつくって下さい。

◆締め切り 6月28日 消印有効 ◆前回のこたえ インフルエンザでした。

応募方法

官製ハガキに住所、氏名、答えと「福祉あさくち」の感想を必ずお書きの上、〒719-0243 鴨方町鴨方73番地 浅口市社会福祉協議会まで。
正解者の中から抽選で20名に記念品贈呈。